

南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会 概要

日 時	令和5年2月3日（金）19時00分から19時30分まで	
場 所	南中学校 体育館	
参加者	23名	
事務局	12名	
	教育部長	中村 一之
	教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
	学校教育課課長	伊藤 信博
	学校教育課主幹	宮内 智之
	教育総務課長補佐	小安 宏尚
	教育総務課学校再編推進室室長	大橋 康博
	教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
	教育総務課学校再編推進室主事	根本 亮子
	教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
	教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
	都市建設部次長（土木建設課長）	白井 高
	土木管理課長	本間 一裕

1 開会

2 あいさつ

中村教育部長からあいさつ

3 説明

説明会資料に基づき、茂原市学校再編第二次実施計画策定までの経緯、第二次実施計画の概要、通学道路の整備計画（案）、南中学校の土砂災害対策における計画（案）、今後の早野中学校の生徒数（見込み）及び早野中学校の状況等を説明した。

4 質疑応答

（保護者）資料10ページにある土砂災害対策における計画（案）について、令和4年度に測量調査を行った結果はどのような感じか。

（事務局）今年度、現地の地形を把握するために現況調査を行った。現地の踏査、また崖を中心に1.65ヘクタール（面積にして1万6,500平方メートル）の測量を行った。

（保護者）測量のみなのか。

（事務局）今年度は現況の測量のみ行った。今後については、測量の結果に基づき対策を考えていきたい。

（保護者）すると、令和5年度の対応策の検討及び設計、令和6～7年度の対応工事の実施というのは可能性があるということか。（実施が）ない場合もあるのか。

（事務局）来年度の令和5年度については、現地の地質調査を行い、その結果を踏まえて最も安全な対策を講じるための検討業務を委託する予定である。

（住 民）資料5ページの下から2行目に、鶴枝地区自治会長連合会の総会とあり、説明会をしてもらえるのだと思う。ただ、もし総会がコロナ禍で書面開催となった場合はどうなるのか。また、開催する場合も、自治会長が29名おり、密を避けることを考慮すると、29名入る会場が鶴枝地区にはない。その際は市民室等をお借りできるのか。

（事務局）その場合には、各会長等とご相談させていただきたいが、今回のような形で多くの皆様に情報を提供するのは難しい状況があると思う。よって、こちらの方から情報を発信し、それに対して何らかのご回答をいただくような形を考えていきたいと思っている。

- (住 民) 先ほどの質問にもあった南中の土砂災害の件に関連して伺いたい。南中を建てた当時も、このような地質調査等を行ってから建てたのだと思う。そして、今度一緒になるというときに、再度このような調査を行うのはなぜか。
- (事務局) 南中学校を建てたときにも、当然地質調査を行っていると思うが、今回は土砂災害警戒区域に指定されたので、対策を講じるために、主に崖についてピンポイントで地質調査を行うものである。

■今後のスケジュールについて

- (事務局) 今後の進め方について、現段階の事務局の案を申し上げる。
本日の内容について、コロナ禍が落ち着いて4月から5月にかけて南中学校、早野中学校、また、進学先が変更となる五郷小学校の各PTA総会、そして、五郷地区及び鶴枝地区の各自治会長連合会の総会が開催された場合、あらためてご説明させていただく。
方法等については、各会長に今後ご相談させていただきたい。
各総会でご理解をいただいた上で、令和8年4月の統合に向けて準備を進めてまいりたいと考えている。

5 その他

6 閉会